



# パイロット通信 8 号

平成 29 年 11 月 20 日 (月)

## ①第 11 回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

10 月 19 日 (木) に第 11 回校内授業研究会を実施しました。2 年生の国語科の授業で「いにしへの心を訪ねる」という単元で「平家物語」について学習をしました。単元を通して生徒が雑誌編集記者という立場になり、源氏か平家かのどちらかに密着取材し、「どちらか一方の視点をもって『平家物語』に関する記事を書こう」というめあてのもと授業が進みました。各班で出された意見をホワイトボードにまとめ、全体で交流し、生徒は平家物語の世界観をより広げていきました。事前アンケートでは「古典の授業が好き」という肯定的回答をした生徒の割合は 3 割弱でしたが、授業後の生徒アンケートでは「今日の授業の内容や進め方は好き」と回答した生徒は 90.1%となりました。



## ②第 12 回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

11 月 13 日 (月) は第 3 回公開授業研究会 兼 第 12 回校内授業研究会を実施しました。1 年生の理科の授業で「紅茶に入れると『いい粉』を見つけるための実験方法を自分で考えよう」という授業を行いました。担任の先生が甘い紅茶でホッと (hot) 一息つこうと思い、台所で砂糖を探してみると、出てきたのは謎の白い粉末状の物質で、物質の正体はわからないというストーリーを映像で見た後、この物質の正体を科学的に解き明かそうという授業内容で、生徒は今まで学習した内容と関連付けながら、物質の性質を調べる実験方法を考え、交流しました。事後アンケートで「今日の授業の内容や進め方は好き、わかる、楽しい」という 3 つの項目で肯定的な回答をした生徒は 100%となり、生徒は興味・関心をもって授業に臨み、友だちの意見を参考に授業での学びを深めていきました。広島県教育委員会 教育部 義務教育指導課 指導主事 玉木 昌知様からは、「カリキュラムマネジメントの視点をもって日々の授業に取り組み、主体的で能動的な深い学びを実現してください」というお言葉をいただきました。また、東部教育事務所 教育指導課 指導主事 西野亘様からは「今日のような挑戦する授業を続けてください」とご助言をいただきました。今後も日々の授業改善を進めてまいります。

